

光のところにいてね (直木賞候補作)

著者名： 一穂 ミチ
出版社： 文藝春秋

たった1人の、運命に出会った
古びた団地の片隅で、彼女と出会った。彼女と私は、なにかもかが違った。着るものも食べるものも住む世界も。でもなぜか、彼女が笑うと、私も笑顔になれた。彼女が泣くと、私も悲しくなった。彼女に惹かれたその日から、残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられないと分かっているながら、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。どうして彼女しかダメなんだろう。どうして彼女とじゃないと、私は幸せじゃないんだろう……。運命に導かれ、運命に引き裂かれるひとつの愛に惑う二人の、四半世紀の物語

しろがねの葉

 **直木賞** 受賞作品

著者名： 千早 茜
出版社： 新潮社

男たちは命を賭して穴を穿つ。山に、私の躰の中に一戦国末期、シルバーラッシュに沸く石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と未知の鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働き出す。しかし徳川の支配強化により喜兵衛は生気を失い、ウメは欲望と死の影渦巻く世界にひとり投げ出されて……。生きることの官能を描き切った新境地にして渾身の大河長篇！

連鎖

著者名： 黒川博行
出版社： 中央公論新社

食品会社の社長・篠原の遺体が高速道路の非常駐車帯で見つかった。手形が不渡りになり、自殺の恐れがあると、妻からの捜索願を受理していた大阪・京橋署の上坂と磯野は、自殺とみて捜査を始める。篠原をめぐる人間関係、巨額の保険金、そして手形の行方……絡まりもつれ合う糸をほぐすような調査から見えてくる真相、その連鎖から浮かび上がる複数の事件は。

なんとかしなくちゃ。青雲編

著者名： 恩田 陸
出版社： 文藝春秋

「これは、梯結子の問題解決及びその調達人生の記録である。」大阪で代々続く海産物問屋の息子を父に、東京の老舗和菓子屋の娘を母に持つ、梯結子。幼少の頃から「おもしろい子やなー。才能あるなー。なんの才能かまだよう分からんけど」と父に言われ、「商売でもいけるけど、商売にとどまらない、えらいおっかいこと、やりそうや」と祖母に期待されていた。その彼女の融通無碍な人生が、いまここに始まる――。

金環日蝕

著者名： 阿部 暁子
出版社： 東京創元社

知人の老女がひったくりに遭う瞬間を目にした大学生の春風は、その場に居合わせた高校生の鍊とともに咄嗟に犯人を追ったが、間一髪で取り逃がす。犯人の落とし物に心当たりがあった春風は、ひとりで犯人捜しをしようとするが、鍊に押し切られて二日間だけの探偵コンピを組むことに。かくして大学で犯人の正体を突き止め、ここですべては終わるはずだったが――。

地図と拳

 **直木賞** 受賞作品

著者名： 小川 哲
出版社： 集英社

「君は満洲という白紙の地図に、夢を書きこむ」日本からの密偵に帯同し、通訳として満洲に渡った細川。ロシアの鉄道網拡大のために派遣された神父クラスニコフ。叔父にだまされ不毛の土地へと移住した孫悟空。地図に描かれた存在しない島を探し、海を渡った須野……。奉天の東にある〈李家鎮〉へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめぐり、殺戮の半世紀を生きる。ひとつの都市が現われ、そして消えた。日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満洲の名もない都市で繰り広げられる知略と殺戮。日本SF界の新星が放つ、歴史×空想小説。

この世の喜びよ

 **芥川賞** 受賞作品

著者名： 井戸川 射子
出版社： 講談社

幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く「あなた」は、フードコートの常連の少女と知り合う。言葉にならない感情を呼び覚ましていく表題作「この世の喜びよ」をはじめとした作品集。ほかに、ハウスメーカーの建売住宅にひとり体験宿泊する主婦を描く「マイホーム」、父子連れのカンパに叔父と参加した少年が主人公の「キャンプ」

審議官

隠蔽捜査9.5
著者名： 今野 敏
出版社： 新潮社

信念のキャリア・竜崎の突然の異動。その前後、周囲ではこんな波瀾が!? 米軍から特別捜査官を迎えた件で、警察庁に呼び出された竜崎伸也。審議官からの追及に、竜崎が取った行動とは(表題作)。竜崎の周囲で日々まき起こる、本編では描かれなかった9つの物語。家族や大森署、神奈川県警の面々など名脇役も活躍する、大人気シリーズ待望のスピンオフ。本書のための特別書き下しも収録！

ホテル・ピーベリー

著者名： 近藤 史恵
出版社： 双葉社

職を失った木崎淳平は、鬱屈した心を抱えてハワイ島にやってきた。滞在先のホテル・ピーベリーは小さいけれど居心地が良く、他に四人の日本人旅行者がいた。だが、ある夜、客の一人が淳平に告げる。「楽しみにしてろよ。今に面白いものが見られる」不吉な予感の通り、その後、客の一人が溺死し――。様々な顔を持つハワイ島の自然と、人生の夏休みを謳歌する人々が抱える闇を巧緻な筆致で描く、一気読み必至の傑作ミステリー。

著者名：
出版社：